

忘れ物を減らす時間割アプリ「iTTable」

1. 目的

2022 年度、変則の多い生野高校の時間割に特化し、通信量の少ないアプリを開発し、試行を行った。本年度は、生野高校 2 年生用の時間割アプリを作成し、日々の時間割表示だけでなく、オプション機能を追加し、生野生の忘れ物を減らすことを目標としたアプリ開発を行うこととした。

2. 仮説

クラスメイトがメモを共有できる機能を備えた時間割アプリを使用することによって、生野生の忘れ物をより減らすことができる。

3. 方法

PWA(Progressive Web application)を利用した Web アプリ「iTTable」を作成する。匿名でクラス内にメモを共有できる機能-①と、特定科目の次の授業日が確認できる機能-②を作成する。

図 1 は、iTTable の画面である。単独のアプリのように動作する。トップに出ているセクションには日付に対応した時間割が表示され、横向きにスワイプすることで表示する日付を変更することができる。追加機能は、このセクションの下部に、もう一つセクションを追加する形式で表示する。



図 1 iTTableの画面

表 1 は、時間割アプリを使用してもらった 3 つのクラスの追加機能の種類と有無を表している。A 組、B 組、C 組の 3 クラスで、約 3 週間（22 日間）、それぞれ異なった追加機能を備えた iTTable を使用してもらい、アンケートを行う。

表 1 3 つの組の追加機能の種類と有無

A 組	クラス共有ノートを追加-①
B 組	特定科目の次の授業日が確認できる機能を追加-②
C 組	追加機能なし-③

アンケート内の忘れ物をする頻度の項目は、「a) ほとんどない」「b) 1 か月に 1 回」「c) 2 週間に 1 回」「d) 1 週間に 2 回」「e) 1 週間に 1 回」「f) ほとんど毎日」の 6 段階にする。

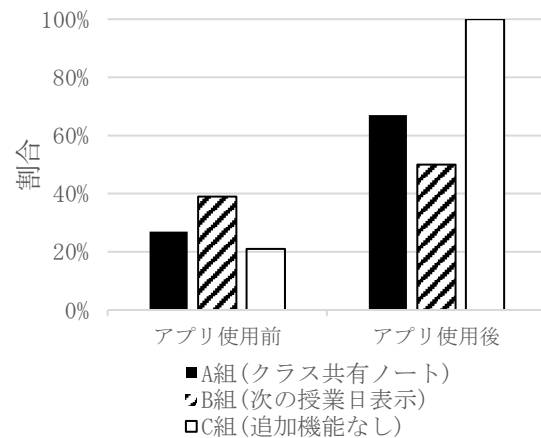


図 2 忘れ物が少ないと答えた回答の割合
2023/6/23 Google formにて実施。対象 120 人、アプリ使用前回答数 47 人、アプリ使用後回答数 24 人。

4. 結果

図 2 は、「a) ほとんどしない」と「b) 1 ヶ月に 1 回」を合わせた回答を「忘れ物が少ない」と定義したときの 3 つのクラスのアンケート結果である。

3 つのクラスともにアプリ使用後に「忘れ物が少ない」回答が増えている。また、追加機能のないクラスの変化の割合が最も大きかった。

5. 考察

すべての組で「忘れ物が少ない」回答が増加したことから、アプリに標準搭載している時間割表示機能に効果があったと思われる。

しかし、仮説のように、メモを共有できる機能を備えた時間割アプリが最も効果があるという結果は得られなかった。アンケートの追加機能の感想欄を見ると、クラス共有ノートに関して、その機能自体に気づいてなかったという意見が多かった。クラス共有ノートの機能をよりわかりやすくすることが必要だと感じた。また、A 組の追加機能について、「必要なものを書いてもらえるのはすごくありがたい。」など好意的な感想が、B 組に比べて多かった。よって、クラス共有メモの機能は、やはり有効だと考える。

6. 結論

クラス共有メモに関して、「気づかなかった」という意見に対処するため、クラス共有ノートは、デザインを刷新し、チャット形式にして、書き込みが可能であることを感覚的にわかるようにした。現在、トップページが完成したところである。